

軍事機密

五砲司作命申第二號(球作命申第三七號)

# 第五砲兵隊命令

九月十日  
那霸

一左記部隊ヲ了ノ指揮下ニ入ラシメラル

左記

野戦重砲兵第一聯隊(第一大隊欠)

野戦重砲兵第二三聯隊

獨立臼砲第一聯隊

獨立重砲兵第百大隊(小隊欠)

中迫撃砲第五大隊

全

第六大隊

獨立迫撃砲第三乃至第十中隊

獨立工兵第六十六大隊

二軍砲兵隊ハ第三十二軍沖繩本島防衛戰  
關計畫ニ據リ中頭、島尻兩郡沿岸ニ  
上陸スル敵ニ對シ機ヲ逸セズ隨所ニ全力ヲ  
集結シ以テ其橋頭堡ヲ擊滅シ得ル如ク  
速カニ戦闘ヲ準備セントス

戦闘準備ノ重點方面ハ大山、那覇村、小満

ヲ運ヌル沿岸並ニ沖繩北飛行場ノ西方又

北方沿岸トス

師團砲兵隊ノ區處權ハ球作命甲第三十五  
號ニ據ル

三軍砲兵諸部隊及師團砲兵隊ハ別ニ示ス  
第五砲兵隊陣地構築要領ニ據リ陣地ヲ  
構築シ攻撃ヲ準備スベシ

第五砲兵司令官

和田孝助

下達法 印刷交付

配布區分

1SA  
23SA  
100 EA  
111  
5MM  
6MM  
3-10 LMS  
66 P.  
42 A  
9 BA  
部内

32A  
9D  
12D  
24D

五砲司作命甲第貳號(球作命甲第三七號)

第五砲兵隊命令

九月十一日  
七〇〇  
那

一丸記部隊ヲ予ノ指揮下ニ入ラシメヨル

丸記

野戰重砲兵第一聯隊(第一大隊欠)

野戰重砲兵第二三聯隊

獨立臼砲第一聯隊

獨立重砲兵第百大隊(小隊欠)

中迫撃砲第五大隊

全

第六大隊

獨立迫撃砲第三乃至第十中隊

獨立工兵第六十六大隊

三軍砲兵隊八第三十二軍沖繩本島防衛戰  
闘計畫ニ據リ中頭、島尻西部沿岸ニ上陸  
スル敵ニ對シ機ヲ逸セテ隨所ニ全力ヲ集結シ以  
テ其橋頭堡ヲ擊滅シ得ル如ク速カニ戰闘ヲ  
準備セントス

戰闘準備ノ重點方面ハ大山那覇、糸満ヲ

連スル沿岸並ニ沖繩北飛行場西方及北方ニ  
岸トス

師團砲兵隊ノ區處權ハ球中命甲第三十五

號ニ據ル

三軍砲兵諸部隊及師團砲兵隊ハ別ニ示ス第五  
砲兵隊陣地構築要領ニ據リ陣地構築シ  
攻撃ヲ準備スベシ

第五砲兵司令部

和田孝助

下連法 印刷之付

配中區下

32 A	12 A
9 D	20 S A
12 D	100 FeAS
62 D	17 B
24 D	5 M M
	6 M M
	10 L M B
	66 P B
	42 A
	95 A
	部
	次

軍事部 第五砲兵隊

中

### 五砲司作命甲第二號別紙 第五砲兵隊地構築要領

#### 一 方針

一 軍砲兵隊ハ軍防衛戰斗計畫ニ基キ且ツ關係  
兵團ノ戰斗ヲ密ニ協力シ得ル如ク陣地ヲ構築ス  
速ニ戰斗準備ヲ完成ス

#### 二 一般要領

- 1 部隊ハ先ノ不時ノ敵砲爆撃手ニ對シ火砲彈藥  
主要器ヲ掩護ヲ爲レ得ル態執力ヲラシメ作業ヲ實施ス
- 2 作業ヲ三期ニ區分レ第一期作業ヲ三次ニ分テ實施ス  
第二期以後ノ作業ニ関レハ別ニ示ス
- 3 師團砲兵ニ関レテ軍砲兵全火力ノ統制上本要  
領如ク指示スルモ是レ基準ヲ示セルニモ任務達成シ

得位位置並ニ作業要領ニ就テハ師團ニ於テ決定セラルル  
三陣地構築作業配當區分附屬及至第ニ如レ  
四 作業順守並ニ進歩基準下

一 第三次作業

イ 掩蔽壕(洞)密陣地ヲ以テ兼テ(第一陣地)彈藥倉庫積  
貯及至部隊疎開宿營地附近第一陣地ヲ構築並ニ  
二 陣地ヲ構築ス

ロ 第一陣地ヲ構築

既到着部隊

未到着部隊到着後

完成

既成ノ概テ主力ヲ以テ主要ナル方向ニ向ヒ  
レ得ル程度ヲ云フ

九月末日

四週内

十日下日

完成ノ砲爆艇手下ニ在リテ任務ヲ完全ニ遂行  
得ル程度ヲ云フ

二 第二次作業

イ 部隊疎開地附近、第一陣地以外、第一案或

第二案ノ場合ニ於テ陣地ヲ構築ス

ロ 第二陣地ヲ概成 十月十五日

完成 十月二十日

三 第三次作業

イ 第三案ノ場合ニ於テ陣地ヲ構築ス

ロ 第三陣地ヲ概成 十月末日

完成 十一月末日

四 第二期作業ハ十二月以降ニ於テ第一期作業ノ補備  
増強及更ニ新ナル陣地構築ヲ實施ス

三 作業實施要領

- 1 火砲ハ洞窟式ト為シ洞窟トシテ適當ナル地形ヲキキ  
ハ掩砲所ヲ設ク
- 2 洞窟ヲ構築セル場合ニマレモ之ヲ掩砲所的ニ使用シ  
各方向ニ對シ射撃ヲ得ル野戰陣地ヲ附近ニ準備  
シ置クモノトス
- 3 白砲迫撃手砲ハ第一次放列附近ニ掩砲所ヲ設ク
- 4 白砲迫撃手砲ニ在リテハ第一期作業間ニ任務達成ニ必要  
ナル隊備放列陣地ヲ一中隊ニ就キ三中隊分ヲ構築シ  
他部隊ノ利用ニ供シ得ル如クス
- 5 觀測所ハ最小人員ニ限定シ其他ノ人員ハ附近ニテ  
掩護良好ナル構築物内ニ位置シ如クテ自然地形ノ象形  
ヲ變更セザル如クス

6 通信線ハ構築トシ無線機ノ掩護ニ著意ス（構成ニ關  
シハ別ニ示ス）

7 段列ハ上空遮蔽良好ナル位置ニ選定シ特ニ無煙  
事ノ設備ヲ為ス

8 彈藥ハ第一次陣地ニ1/2 第二次陣地ニ1/4 第三  
陣地ニ1/4ヲ基準トシテ分置シ置クモノトス 特ニ防  
火誘爆ニ關シ著意ス（地下彈藥庫構築迄ニ必  
ズ彈藥ノ保存ニ注意ス）

9 掩護層ハ尋常ナル時二十米以上 岩般ナル時五米以  
上トス

10 部隊機動ノ為メ交通路ニ關シテハ別ニ示ス

六 工兵隊

- 1 砲兵司令部戰斗指令所ノ構築
- 2 軍砲兵隊ノ陣地構築協力

- 3 陣地構築用木材伐採作業
- 4 各兵團ニテ構築ニ幹線道路ヨリ砲兵陣地ニ至ル間、道路中技術上困難ニ場所、構築及作業、指導援助
- 5 聖樓、構築、展望台構築
- 6 其他

附表第一  
天山以南那霸到ル間ニ重兵ヲ指シタル場合

100FeAs	23.SA	ISA(-I)	5AB	部隊 任務(射撃区域)	主ナル観測地帯	放列地帯	指
近ヲ射撃シ得ル如ク	伊祖、内間、安里以西ノ嘉敷(1046)附近	空島崎、那覇、大場、間、安波茶、経塚附近(天隊)	重兵正南、全般觀察 牧港、安波川、間、伊祖、内間以西、地区一部ヲ以テ大山附近ヲ射撃シ得ル如ク	中前兵團西正面之全般觀察 經塚	仲間東方高地附近	嘉敷、合良、江次附近	経塚、合良、江次附近
		SA、左ノ北ニ至ルヲ以テ、地区(天隊)南ヨリ大ニ附近地			嘉敷、合良、江次附近		経塚、合良、江次附近



備考	7BA	4.2A	3-6LM	577M	1MS
<p>一、此所ハ本隊ノ位置ニシテ中隊觀察所及前哨所ハ本隊ノ後方ニシテ</p> <p>二、運兵ニシテ得ルニシテ中隊觀察所ハ本隊ノ前方ニシテ</p> <p>三、連絡ヲモテ兼ナルモノトシテ</p> <p>四、陸地ハ勿クテ歩兵隊ノ内ニ選定ス</p> <p>五、奇ニ自衛ノ道ニ選定ス</p> <p>六、奇ニ自衛ノ道ニ選定ス</p> <p>七、奇ニ自衛ノ道ニ選定ス</p> <p>八、奇ニ自衛ノ道ニ選定ス</p> <p>九、奇ニ自衛ノ道ニ選定ス</p> <p>十、奇ニ自衛ノ道ニ選定ス</p>	<p>城廓ノ西ノ端ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p> <p>内側ノ安固ヲ以テ</p>	<p>大ノ山ノ麓ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p> <p>大ノ山ノ麓ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p>	<p>大ノ山ノ麓ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p> <p>大ノ山ノ麓ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p>	<p>大ノ山ノ麓ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p> <p>大ノ山ノ麓ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p>	<p>大ノ山ノ麓ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p> <p>大ノ山ノ麓ニ本隊ノ首尾西方放列ニ近ク</p>

附表第二

二那覇ヨリ糸満附近ニ重兵ヲ指向スル場合情況ニヨリ  
 具志頭方向ヨリノ上陸ヲ考慮ス  
 第二案

隊別	任務(射撃区域)	主ナル觀察所地帯	放列地帯	摘
JAB	重兵正面全般觀察	高山嶺	伊覇ノ上原ノ志多	① 推定觀察所 ② 觀察所
ISA(-I)	具志頭ノ糸満南方高地ノ間ノ小嶺ノ阿波根ノ國吉各東端ノ線以西ノ区域ノ要スル主力ヲ具志頭方向ニ	志多伯保榮茂座ノ波附近ノ高地ノ具志頭ニ向フ場合ハハ東射撃	伊覇ノ上原ノ志多ノ間ノ高地	① 伊覇西方ノ高地ノ南半部ハISA優先トス
23 SA	鏡水ノ翁長間ノ小嶺ノ阿波根各東端ノ線以西ノ区域ノ要スル約一大隊ヲ以テ具志頭方向ニ	武富ノ保榮茂附近ノ高地ノ具志頭方向ニ向フ場合ハハ系数高地	首里東端ヨリ大名附近ノ地帯(一大隊)	① 第一案陣地附近トス

考	備	9BA	42A	3-6LM	5MM	IMS
観測所へ隊大隊、位置ヲ示スルニシテ中隊観測所及補助観測所へ隊大隊ニシテ選定スルヲ得ルニシテ補助観測所へ隊大隊他部隊主観測所内ニ投入シ行ハシテ連絡ヲ毛兼ヌルモノトシ、陣地ハ勿クテ歩兵隊内ニ選定ス、奇ニ白砲迫撃砲ハ将隊ノ隊内及兵刃溢存ノ見地ニ基キテ少兵陣内ニアルヲ要ス、橋要欄中①②③ハ作業順序各第一次第二次第三次ヲ示ス。	観測所へ隊大隊、位置ヲ示スルニシテ中隊観測所及補助観測所へ隊大隊ニシテ選定スルヲ得ルニシテ補助観測所へ隊大隊他部隊主観測所内ニ投入シ行ハシテ連絡ヲ毛兼ヌルモノトシ、陣地ハ勿クテ歩兵隊内ニ選定ス、奇ニ白砲迫撃砲ハ将隊ノ隊内及兵刃溢存ノ見地ニ基キテ少兵陣内ニアルヲ要ス、橋要欄中①②③ハ作業順序各第一次第二次第三次ヲ示ス。	城間一那霸大端間伊祖首里西方放列ニ近ク内間安里以西	大山一城間間、大山伊祖東放列附近	大山一城間間、大山伊祖東放列附近	大山一城間間、大山伊祖東放列附近	大山一城間間、大山伊祖東放列附近

附表二

二那霸ヨリ糸満附近ニ重兵ヲ指向スル場合情況ニヨリ具志頭方向ヨリノ上陸ヲ考慮ス  
第二案

隊別	任務(射撃区域)	主観測所地帯	放列地帯	摘
JAB	重兵正面、全般觀察	高山嶺	伊祖、首里、志多	推定観測所 ① 観測所
ISA(-I)	具志頭一糸満南方高地、間、小緑一阿波根、國名各東端、線以西ノ区域、要スル主力ヲ具志頭方向ニ	志多伯保栄茂座、波附近ノ高地、具志頭ニ向フ場合ハ八重射撃	伊祖、首里、志多、伯、間	① 伊祖西方ノ高地、南半部ハISA優先ス
23 SA	鏡水一翁長間、小緑一阿波根各東端ノ線以西ノ区域、要スル約一大隊ヲ以テ具志頭方向ニ	武富保栄茂附近ノ高地、具志頭方向ニ向フ場合ハ系数高地	首里東端ヨリ大名附近ノ地、(一大隊)神里反奇稻嶺間ノ地、(一大隊)	① 第一案陣地附近トス



考備	9BA	42A	7-10LM	3-6LM	6MM	5MM
第一案ニ同シ。	座喜味-古壁以西 要スル主カヲ以テ平安山 東方高地	座喜味-古壁以西 △220高地親志北方高 地	座喜味南側-都屋- 渡具知間 喜喜索-真喜苗-長狭間	座喜味南側-都屋- 渡具知間 喜喜索-真喜苗-長狭間	長狭-瀬名波-波平- 楚辺間 喜喜索-真喜苗-長狭間	浪平-都屋-都長知間 喜喜索-真喜苗-長狭間
	放列附近 高地	放列附近 高地	放列附近 高地	放列附近 高地	放列附近 高地	放列附近 高地
	宇久良西北方及東南 方地区	△220南方地区 (現配置)	寺原附近地区	喜喜索北方地区	親志東方地区	喜喜索北方地区
	①ノ一		①ノ一 ②ノ二		①ノ一 ②ノ二	③

正副司令官命 五草一號

軍砲兵隊命令

九月十二日 一六〇〇 儀

一 軍砲兵諸部隊ハ概テ展開準備態勢ヲ配置ニ於テ

海邊ニシテス

二 各部隊尤記位直ニ當テスルニ細部位置及本部等用  
設高使用ニ建造物ノ配置區分ニ関シハ現地所在部隊  
ト相互協定スベシ

九 記

5AB 興儀隊舎

18A 東風平村伊弉志多但附近(國民學校)

但 235A 到着是現位置三部兵員之設置不

235A 聯隊本部及一大隊

南風原村兼成國民學校(現似為遺址)

一大隊

西原村(與那原北方)

1178 聯隊主力

浦添村仲西(國民學校)

一部

豈見城村高入端

浦添村(國民學校)

5MM 宜野灣村等岫附近

6MM 糸滿町(國民學校)

326LM 那霸東北方附近

66PS 小祿附近

AT 與儀附近

AT 與儀廠舎

下達法 印刷交付

配布區分

SA  
235A  
1MP  
100FeAs  
5MM  
6MM  
326LM  
66PS  
AT  
部  
双

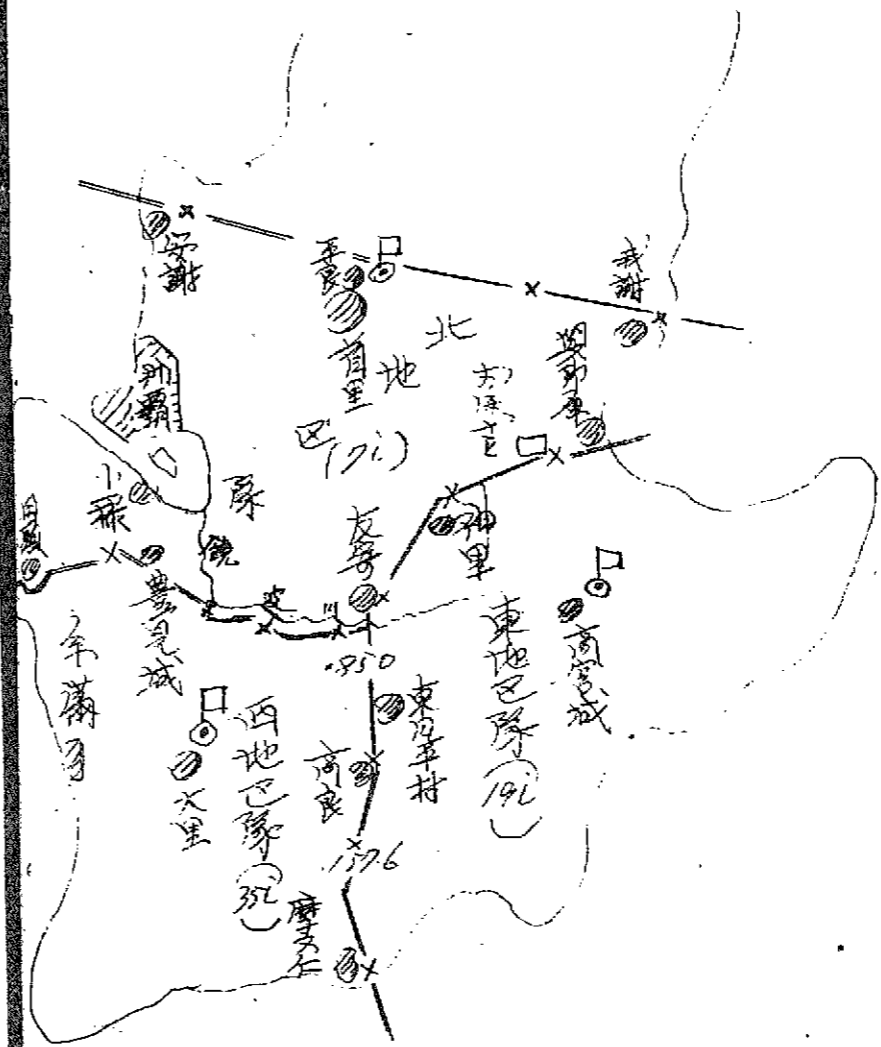
軍令 陸軍部  
黃菱作命申第三號(珠作命申第三號)

第九師團命令

九月十八日二〇〇  
里

一 師團ハ珠作命申第三號ニ據テ師團防衛擔  
任地域外ニ在ル軍直轄部隊及軍區處部隊中特ニ  
示サレタルモノ外防衛宿營、徵發、調練、木材伐  
採及交通整理ニ關シ區處セシメラル  
二 師團防衛擔任地域外ニ在ル前項區處下各部隊及  
師團直轄各部隊ハ前項各事項ニ關シ左記ニ依リ  
關係各地區隊長ノ區處ヲ受クベシ

# 正記



北地區隊長 21 長 (首里第三國民學校)  
 東地區隊長 196 長 (大里第三國民學校)  
 西地區隊長 32 長 (與座公會堂)

三予八首里師範學校 (在)

師團長 原 平

下達按 印刷交付

本市区分 32A 76 196 35C 師團直轄部隊直轄部隊及區區部隊

五砲司作命丙第三號

第五砲兵隊命令

於十月一日一六〇〇  
與儀

一球第九七〇。部隊及同指揮下部隊宿營地ヲ

別紙要圖、如夕定ム

下達法印刷交付

下達區分指揮下各部隊

中  
印  
文  
字  
符



連事機法

普天明

5MM本部  
現在東部山脈  
中隊、掃、定  
後、環、呼、定

國學院校

### 指揮下部隊宿營要圖

(十月一日現在)

備考

八未到着部隊

之工事、關係之部、移動スルニ下リ

1MS本部  
波濤  
一部、平、隊、在、川

沼津 (民家)

首里  
3-6LM

真和志

(國民學校)

100FeA本部  
本部、長、堂、前、間  
真嘉山、神里、山、在、川  
田、頭、員、津、嘉、山、在、川

5A8本部  
測地、中、隊、工、兵  
LH△

與廠機

那霸  
7-10LM

與昭原

23SA

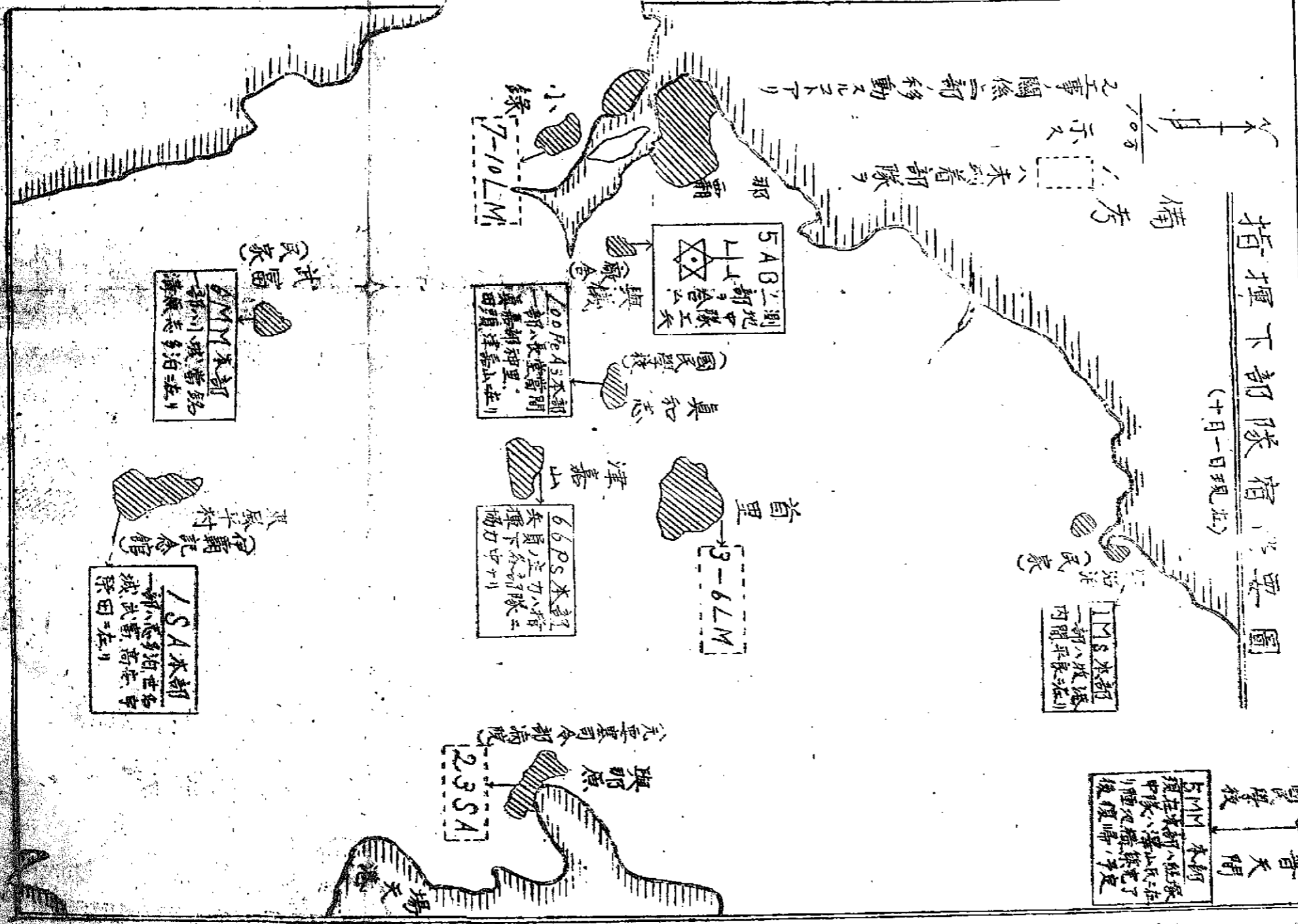
元軍司令部病院

場天

武富 (民家)  
1MM本部  
波濤、路  
沼津、志、多、泊、在、川

伊羅紀念館  
東原平村

1SA本部  
本部、志、多、泊、在、川  
城、武、野、高、在、川  
築、田、在、川



五山

軍事機密

五改司作命甲第六號

軍砲兵隊命令

一軍砲兵隊戰鬥準備ニ関スル計畫ニ左記

事項ヲ追加ス

第三防衛其一戰備間ノ態勢ノ第一條

乙號戰備ノ末項ニ

亦乙號戰備下令間空襲警戒解除セラルル時

ハ別命ヲク丙号戰備ニ移ルモノトス

十月十九日〇八〇〇

與

儀

第三條 丙號戰備ノ末項ニ

ニ丙號戰備下令間敬言戒警報解除セシ

タル時ハ別命ナク丁號戰備ニ移ルモノトス

下達法 要旨口達後印刷交付

配布区分  
32A  
15A  
23SA  
100FeAs  
1Ms  
5MM  
6MM  
3MOLM  
66Ps

申付ナク付

軍事機密  
五改司作命甲第六號

軍砲兵隊命令

十月十九日〇八〇〇  
與儀

一軍砲兵隊戰鬥準備ニ関スル計畫ニ左記

事項ヲ追加ス

第三防衛其ノ一戰備間ノ態勢ノ第一條

乙號戰備ノ末項ニ

亦乙號戰備下令間空襲警戒警報解除セラルタル時

ハ別命ナク丙号戰備ニ移ルモノトス

第三條 丙號戰備ノ末項ニ

丙號戰備下令間 警告戒警報 解除セラル

タル時ハ別命ナク 丁號戰備ニ移ルモノトス

下達法 要旨口達後 印刷交付

配布区分 32A  
15A  
235A  
100FeAs  
1Ms  
5MM  
6MM  
340LM  
66Ps

原書地密

寫

球作命丁第五三號

第三十二軍命令

十月二十一日 那 霸

一軍ハ現下人の戦力消耗ノ主因タル急性傳染病ノ徹底的防遏ヲ企圖ス

二各兵團(部隊)ハ現狀況ニ即應シ傳染源ノ芟除及傳染経路ノ遮断ニ遺憾ナキ施策ヲ實施スルト

共ニ特ニ丙號戰備以上ノ狀況下ニ於ケル防疫的給水ノ根本對策ヲ樹立スベシ

三第二十七野戰防疫給水部長ハ前項計畫並ニ實施ニ關シ第六十二師團及獨立混成第四十四旅

團ニ協カスベシ  
四軍經理部長ハ前諸項ノ衛生施策實施ニ協カス

6LM